

国語科学習指導案

指導者 海田町立海田小学校

- 1 日 時 平成29年11月3日(水) 第6校時
- 2 学 年 第1学年1組(男子9名 女子20名 29名)
- 3 場 所 海田小学校 1年1組教室
- 4 単元名 いろいろなふね ～のりものはかせのりものずかんをつくろう～
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、第1学年および第2学年の「読むこと」の言語活動例「ウ物事の仕組みなどについて説明した文や文章を読むこと」を通して、指導事項「イ時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読むこと。」「エ文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」を指導するものである。

本単元では、お気に入りの乗り物について書かれた本や文章を読み、「やくめ」「つくり」「できること」を読み取って図鑑を作るという言語活動を行う。図鑑を作るためには、乗り物について説明をしている文章を読んだり、文章中の大事な言葉を書き抜いたりしなければならない。その力をつけるために、「いろいろなふね」の教材文で、図鑑に必要な視点である「やくめ」「つくり」「できること」について読んでいく。教材文を通して、内容の大体を読むことと、文章の中の大事な言葉や文を見つけ、書き抜くことという二つの力をつけることができる。その付けた力を使って図鑑を完成させていく。

本教材は、四種類の特徴的な機能を持った船が例として取り上げられており、それぞれの船の役目を構造や装備と関連付けながら読み進めることができる説明文である。乗り物という児童にとって身近な題材であり、「話題提示」「四つの例示」「まとめ」という文章構成であることから、叙述に即して内容を正確に捉えることに適している。また、四つの船のそれぞれが、「役目」「構造(つくり)」「装備(できること)」と、同じ段落構成で書かれているため、書き方を比較しながら読むことができ、説明文としての基本的な構成を理解させることにも適している。

(2) 児童観

本学級の児童は、「どうやってみをまもるのかな」において、事柄の順序に気を付けて内容を正しく読み取る学習をしている。どのように文章を構成しているかという文章表現上の順序に気を付けて、それぞれの動物の身の守り方を読み取る学習を行った。その学習の中で、三つの動物のそれぞれが、「体の特徴」「問の文」「答え」という同じ段落構成であることに気付き、文章の中の大事な言葉を使ってクイズを作るという言語活動を経験している。単元末テストにおいては、28人中4名が語を抜き出す問題において間違っていた。4名の児童については、質問されている答えがどの部分に当たるのかを見つけることが難しかった。質問を教員と共に声に出して読むと、どの文やどの語がそれに当たるのか答えることができる。これより、文字や文に慣れることが必要だと考えられる。尚、4名中1名は、語のまとまりで読むことが難しい。また、7月に行った学期末テストでは、どこを抜き出すのかは理解できていても、言葉を正しく抜き出す際に、文字を間違えて写してしまったり、時間がかかってしまったりする児童が5

名いた。

(3) 指導観

□指導にあたっては、学習を主体的で深い学びにしていきたい。そのために、次の3点を実践していきたい。一つ目は、単元を他の教科とも絡めながら、児童の「乗り物についてもっと知りたい」と思う気持ちを膨らませることである。本単元を行う前に、社会見学において呉の大和ミュージアムに見学に行く。その際に、できるだけ多くの乗り物に着目させ、実際に、電車に乗ったり、船の模型などを見学することで、乗り物に興味をもたせる。興味をもちできるだけ多くの乗り物を調べることができるよう、教室前に並行読書ができるコーナーを用意しておく。そこには、乗り物図鑑（教師が作ったもの）を飾っておき、単元に入る前に、自分も乗り物図鑑を作ってみたいという思いを膨らませておきたい。二つ目は、かかわり合いながら学習内容を深めていくことである。集団解決の場で友達の意見や考えを聞くだけでなく、「この図鑑にこんなことが乗っていたよ。」などと教え合えるような場や時間を設けることで、友達からのアドバイスでよりよいものになったという経験を積ませたい。三つ目は、目標達成のために、自分で調べる本だけでなく、比較がしやすく、図鑑にすぐ活用できる文章を用意しておくことである。まだ、文字を学習して日が浅いため、文章を読む力の差が大きい。そこで、並行読書の一環として、自作資料を慣れるために読ませ、必要な語や文の抜き出し方を習得させることで、学力に課題がある児童も自信をもって楽しく学習を行えるようにしていきたい。

6 単元の目標

- (1) 乗り物図鑑をつくるために、教材文や乗り物に関する本や文章を読もうとすることができる。
【国語への関心・意欲・態度】
- (2) 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むことができる。 【読むことイ】
- (3) 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。 【読むことエ】
- (4) 文の中における主語と述語との関係に注意して、読んだり書いたりすることができる。
【言語についての知識・理解・技能 イ(カ)】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
【言語活動例】 ウ 物事の仕組みなどについて説明した文や文章を読むこと ～のりものはかせのりものずかんをつくらう～		
・乗り物図鑑を作るために、教材文や乗り物に関する本や文章を進んで読み、図鑑カードを作ろうとしている。	・事柄の順序に気を付けて、乗り物の「役目」と役目に応じた「つくり」、つくりに応じた「できること」を見つけて読んでいる。(イ) ・乗り物について書いた本や文章を読んで、「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事な言葉や文を書き抜いている。	・文の中の主語と述語の関係に注意して読んだり書いたりしている。イ(カ)

8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①主体性 ②自らへの自信③コミュニケーション能力の3つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	単元のゴールである図鑑をつくるために、毎時間の計画に沿って、学習に取り組み、自分の図鑑を作り上げている。
コミュニケーション能力	友達の考えを聞き、自分の考えを広げたり、深めたりすると同時に、友達と一緒に学ぶよさを感じている。

9 単元の学習指導計画（全12時間）

次	時	学習内容	評価			
			関	読	言	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	課題の設定 ○好きな乗り物について話し合う。 ○新出漢字の学習をする。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物に感心を持ち、乗り物図鑑を作るために、教材文を読もうとしている。 関① (観察・ノート) ★図鑑を作るというゴールに向けて、見通しをもって作ろうとしている。⊕ (観察・ノート)
	2	○「のりものはかせのりものずかん」を作るための学習計画を立て、見通しを持つ。				
二	3	情報収集 ○客船の「役目」「つくり」「できること」を読み取り、特徴をまとめる。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・客船の「役目」と役目に応じた「つくり」、つくりに応じた「できること」の事柄の順序に気を付けて読んでいる。 読① (図鑑シート, ノート)
	4	○フェリーボートの「役目」「つくり」「できること」と漁船の「役目」「つくり」「できること」の特徴をまとめ、比較する。				
	5	○消防艇の「役目」「つくり」「できること」をこれまでの3つの船について書かれた文章と比較しながらまとめる。				
	6	○説明文の仕組みを知る。 整理分析				
				○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの船のそれぞれが、「役目」「つくり」「できること」と、同じ段落構成で書かれている

					<p>ことを読み取り，話題提示に対して，さいごにまとめを書く構成になっていることを理解している。</p> <p>読④（ノート）</p>
三	7 8 9 10.	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>○乗り物に関する本や文章を読んでお気に入りの乗り物について調べ，図鑑シートにまとめる。</p> <p>○友達と書いた図鑑を交流し，互いにアドバイスをし合い，図鑑を完成させる。</p>	○	○	<p>・お気に入りの乗り物について調べるために，乗り物について書かれている本や文章を選んで読んでいる。</p> <p>関②（観察）</p> <p>★図鑑を作るために，乗り物の本を進んで選び，読もうとしている。㊦（観察）</p> <p>・乗り物について書いた本や文章を読んで，「役目」「つくり」「できること」を読み取り，大事な言葉や文を書き抜いている。</p> <p>読⑤（図鑑シート）</p> <p>★友達とアドバイスをし合い，書いたものをよりよいものになるように読み直している。</p> <p>㊧（観察）</p> <p>・主語と述語の関係に注意して文章を読んだり書いたりしている。</p> <p>言語（図鑑シート）</p>
四	11 12	<p>振り返り</p> <p>○作った図鑑を互いに読み合い，感想を交流する。</p>	○	○	<p>・友達の乗り物図鑑を進んで読んでいる。</p> <p>関③（観察）</p> <p>・友達の乗り物図鑑を「役目」「つくり」「できること」の事柄ごとに大事な言葉や文を見つけながら読んでいる。</p> <p>読⑥（観察・ノート）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★「深い学び」を実現した児童の具体</p> <p>A わたしは，いろいろなふねで，のりものずかんをつくりました。いろんなひとにかいたずかんをみてもらうには，せつめいがうまくかけないといけないので，きょうかしょにあるように，やくめとつくりとできることをしらべてかきました。こんなふうにはせつめいをするときには，だじなことばをみつけることがだじなんだとわかりました。ともだちに，せつめいがわかりやすかったよと言ってもらってうれしかったです。</p> <p>B わたしは，のりものずかんをつくりました。いろんなのりものをしらべることがたのしかったです。やくめとつくり，できることがどんなことかをしらべました。だじなことばをみつけるのはむずかしかったけど，ずかんができて，ともだちにもほめてもらえてうれしかったです。</p> </div>

1.1 本時の学習

(1) 本時の目標

フェリーボートと漁船の「役目」と役目に応じた「つくり」つくりに応じた「できること」の事柄の順序に気を付けながら読み、文章の構成について比較することができる。

(2) 本時の評価規準

事柄の順序に気を付けて、乗り物の「役目」と役目に応じた「つくり」、つくりに応じた「できること」を見つけて読み、文章の構成に気付くことができている。(イ)

(3) 準備物

図鑑シート、掲示物、タブレット（教師用）

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 前時の学習（客船）を振り返りながら音読をする。	◇単元の流れが分かる掲示物で確認できるようにする。 ◇本時につながるよう、前時の掲示物に色分けしておく。 ◆掲示物を見れば前時が想起できるようにしておく。	
展開	2 本時の学習内容を確認する。	◇図鑑づくりへの意識をもつために、図鑑を確認する。	
	めあて ○フェリーボートとぎょせんをよみ、「やくめ」「つくり」「できること」をみつよう。 ◎ずかんにどのようにかくとよいか、コツをみつけてじぶんのずかんでつかえるようにしよう。		
	3 音読をし、フェリーボートと漁船の役目・つくり・できることを自力解決で考える。	◇教科書の本文が書かれているワークシートに、役目、つくり、できることが書いている場所に線を引くよう指示をする。 ◆色分けした前時の掲示物をヒントに自力解決ができるよう机間指導をする。	
4 集団解決で役目・つくり・できることを確認する。	◇確認をしながら教科書に線を引いていく。		

展開	5 フェリーボートと漁船の書き方について比較をする。	◇色分けをした掲示物がヒントになるようにする。	
<ul style="list-style-type: none"> ・どちらも「ために」という言葉があります。 ・「あります。」「つんでいます。」とどちらもどんな船かが書いています。 ・きゃくしつでできることとあみでできることがあって、どちらも「できること」が書いています。 ・〇〇は、・・・するための船です。そのために・・・があります。・・・があるから～できます。とつながっている。 ・役目・つくり・できることの順番になっている。 			
まとめ	6 学習のまとめ・振り返り	◇図鑑シートに色分けした短冊を並び変えて貼り、フェリーボートと漁船のページを完成させる。	○事柄の順序に気を付けて、乗り物の「役目」と役目に応じた「つくり」、つくりに応じた「できること」を見つけて読んでいます。 読② (図鑑シート)
	7 次時の計画	◇並行読書の視点(役目、つくり、できることを見つけながら読む)を伝える。	

1 2 板書計画

